

1997 HOTな1年を振り返る。



1997年も残すところあとわずか。今年の岩手もさまざまな出来事がありました。秋田新幹線や東北横断自動車道秋田線の全面開通など交通基盤の整備が進み、「日本文化デザイン会議'97」や「全国豊かな海づくり大会」など全国規模の大会も開催されました。この1年を確かなステップとし、新たな年を迎えるため、県政を中心に1997年の歩みを振り返ります。

1

- 1日 おだやかな一年の始まりを迎える。
- 8日 いわてシルバー洋上セミナーの一行が花巻空港を出发。青年海外セミナーと女性洋上セミナーの一行もこの月研修を行った。
- 17日 県外に住む岩手県民にゆかりの方々から意見・提言を聞く「銀河系 いわて大使懇談会」を札幌市内で開催。当日は北海道在住の大使20人が出席した。

2

- 4日 「第46回全国高校スキー大会」が安代町を会場に開幕。史上最多に並ぶ42都道府県から344校が参加し、熱戦が繰り広げられた。



- 10日 岩手菓子博レディ5人が決定。平成10年4月開催の「第23回全国菓子大博覧会」に向けてPR活動がスタート。
- 12日 平成9年度当初予算と主要施策重点事業が発表される。予算は、一般会計の総額で8,765億円と前年に比べて8.6%増の積極型予算となる。
- 18日 移転新築した県立胆沢病院の落成式が行われ、3月3日から新病院での外来診療が始まった。

3

- 11日 第1回ひとにやさしいまちづくり賞発表。バリアフリーに配慮した先進的な施設などを表彰した。
- 13日 第6回県立大学開設準備委員会を開催。設置申請の最終的な検討や開学に向けた準備体制について審議した。
- 22日 秋田新幹線が開業。盛岡-秋田間は最短で1時間24分に、また東京-秋田間は最短3時間49分で結ばれることとなった。



- 24日 約130種類の介護機器を搭載する介護機器移動展示車「いごくん」の発進式が県庁前で行われた。
- 27日 「岩手県事務委譲等推進指針」がまとまる。平成8年度から5年間で、県の本庁から地方振興局に約400件、県から市町村に約100件の権限を委譲するという内容。

4

- 1日 10年ぶりの大幅な再編整備により、県の行政機構が新たにスタート。本格的な高齢社会の到来や地方分権の時代への対応などに主眼を置いた体制となる。
- 1日 県農業研究センターが北上市に開所。農業・畜産・園芸・蚕業の各試験場を統合した東北初の総合農業研究機関としてスタート。



- 7日 増田知事が就任以来平成7・8年度で77回開催した県政懇談会を平成9年度は70回程度開催することを発表(定例記者会見)。その後、各地で順調に開催されている。
- 15日 高度技術及び高度情報化に対応できる実践的な人材育成を目指す「岩手県立産業技術短期大学校」が矢巾町に開校。



- 26日 県立花きセンター(金ヶ崎町)がリニューアルオープン。高度な栽培技術を習得するためのハイテク温室や広く世界の花が鑑賞できる「花の館」が新しく整備された。

5

- 2日 石鳥谷・紫波町で大規模な山火が発生。2日間にわたる火災で304ヘクタールの山林を焼失し、その被害総額は7億6,400万円に上った。「全国マルチメディア祭」の平成10年度本県開催決定が発表される。この催しは、地域情報化の全国的な推進を図るために郵政省が中心となり開催しているもの(定例記者会見)。
- 21日 県は、県道平石東八幡平線(通称・奥産道)の自然との共生の方向性や今後の道路整備の方向性等を検討するため、有識者10名からなる「道路検討委員会」を設置した。
- 22日 10月に開催される「全国豊かな海づくり大会」を記念し、平成9年度岩手県植樹祭が山田町の船越家族旅行村で行われた。
- 23日 平成9年度県功労者顕彰表彰式が行われ、渡邊文正さんら3人1団体が表彰された。
- 30日 「第18回日本文化デザイン会議'97岩手」が盛岡市で開催。「ものゝかたり」をテーマに60以上のプログラムが展開され、多くの参加者が「文化のお祭り」を楽しんだ。

6

- 7日 「第35回岩手県身体障害者スポーツ大会」が県営運動公園とふれあいランド岩手で開かれ、679人の参加者が32種目で熱戦を展開した。
- 11日 「いわてフレンドシップセミナー'97」が一関市で行われ、「世界と岩手」などをテーマに増田知事らがネパールやケニアなど5カ国の大使・公使と懇談した。
- 13日 「いわて環境フォーラム'97」が盛岡市で開催され、パネル討論会などを通じ「人と自然との共生」について理解を深めた。



7

- 23日 東北横断自動車道釜石秋田線北上西IC-湯田IC間が開通。北上-秋田間は約1時間半で結ばれ、岩手-秋田の横断の高速交通網が本格的に動き出す。



- 24日 滝沢村の国立岩手山青年の家をメイン会場に31日までの8日間、「国際青年の村'97 in Iwate」が開催される。17カ国から278人が参加し、相互の理解と友好を深めた。
- 26日 久慈-仙台間の直通列車「シーライナー」が運行開始。三陸鉄道とJR東日本の7線を経由し、久慈-仙台間を約7時間で結んだ(8月10日まで運行)。この日、県の新しい総合計画の基本的方向について、知事が岩手県総合計画審議会へ諮問。21世紀に向けた県民提案型・県民参加型の計画づくりがスタートした。

8

- 8日 「インドネシア・日本友好祭'97アイン・いわて」が開幕。県内4市を会場地に12日まで、インドネシア・バリ島の芸能団体と県内の芸能団体が公演した。また、8月30日から9月15日までバリ絵画展が開催された。



- 18日 岩手県米消費拡大推進協議会などが8月18日を「米の日」に設定。米食への理解と米の消費拡大を進める活動を展開。
- 25日 知事は、食糧費の全庁的調査実施、食糧費の執行を伴う懇談(10月1日以降開催分)は原則として相手方氏名などの公表を前提として行うことなどを発表(定例記者会見)。

9

- 2日 「地方分権フォーラム'97いわて」が盛岡市で開催される。「分権型地域社会の創造に向けて」をテーマとしてパネルディスカッションなどで論議を深めた。
- 9日 県の新漁業取締船「岩鷲(がんじゅ)」が竣工。国内最速クラスのスピードを誇り、取り締まりの強化に期待がかかる。
- 11日 5年に一度の和牛の祭典「第7回全国和牛能力共進会」が産業文化センターなどで開かれ、本県出品牛が内閣総理大臣賞を受賞するなど、優秀な成績を取めた。



10

- 13日 地方自治法施行50周年を記念し、県議会の本会議場で「岩手こども議会」を開催。小中学生28人のこども議員が自然環境や学校、地域のあり方などについて提言した。
- 2日 知事は、平成10年度当初予算を9年度比でマイナスとなるよう歳出の削減を図るなど、行政・財政改革のための各種具体策を盛り込んだ「行政システム改革指針」を発表(臨時記者会見)。
- 4日 今年50回を迎えた岩手芸術祭が開幕。半世紀を節目に芸術文化のさらなる発展を期し、新作合唱組曲の発表や文化講演会などの記念事業を開催。
- 5日 天皇、皇后両陛下をお迎えし、大槌町大槌漁港を会場に「第17回全国豊かな海づくり大会」が開かれた。県内外から約2万3000人が参加し、式典行事と多彩な関連行事が繰り広げられた。



- 10日 本県の物産や観光などの魅力を丸ごと情報発信する「銀河系 いわてフェスティバル'97」が東京都内で開催され、約28万人の入場者を記録した。19日までの期間、ニューヨークで農産物海外アンテナショップを開業。ロサンゼルスに引き続き米国東海岸での県産品の消費宣伝の展開を通じて、岩手県の知名度とイメージアップを目指す。
- 24日 「いわて“めぐみ”フェア〜いわて農林水産まつり〜」が3日間、盛岡市の岩手公園中央広場などで開かれ、多くの来場者が岩手の海山大地のめぐみを満喫した。
- 29日 青森県十和田湖畔で「第1回北東北知事サミット」が開かれ、観光振興をはじめ、さまざまな面で県境を越えた連携を強化していくことで合意した。



11

- 1日 岩手と沖縄を直結する花巻-沖縄線が就航。直行便は月・木・土曜の週3往復運航する。
- 12日 本県とハンガリーとの経済交流を進める「ハンガリーフェアいわて'97」が盛岡市内で開催。5日間にわたって特産品の展示販売や文化・観光の紹介などが行われた。
- 25日 北東北最大級の規模を誇る複合インテリジェントビル「マリオス」が開業。



12

- 9日 地方自治法施行50周年記念式典が県民会館で開催され、地方自治に功績のあった個人10名、団体8団体に表彰状が送られ、また、石原信雄氏とグレゴリー・クラーク氏による講演が行われた。
- 11日 東京都内で「外資系企業ネットワークいわて'97」を開催。本県に関心を持つ外資系企業に対し、21世紀に向けて発展が期待される「いわて」の姿や立地環境などを広く紹介した。
- 19日 文部省から岩手県立大学の設置が正式に認可。平成10年4月の開学へ向け大きく前進。
- 27日 花巻空港の6番目の新路線、花巻-新潟線が就航。月曜日を除く1日1往復、19人乗りのコミューター機による運航となる。(予定)